

倉吉市立小学校適正配置修正複数案について各地区回答状況

成徳・明倫・灘手

- ◇成徳地区・・・・・・単独存続
- ◇明倫地区・・・・・・学校統合＜明倫小・成徳小・灘手小（明倫小校舎）＞
※第2希望は、単独存続
※中学校進学については、東中学校へ希望
- ◇灘手地区・・・・・・小学校保護者会長から市教委へ要望書の提出（10/16）
「灘手小・成徳小統合（成徳小校舎）」を要望
年末年始の各自治公民館総会の際に、保護者からの要望書に
ついて説明し、意見集約後に回答（1月中旬頃）

高城・北谷・社

- ◇高城地区・・・・・・単独存続と、小中一貫校＜北谷小・高城小・久米中＞
（コロナ禍で、地元での話し合いの開催が困難であった。）
- ◇北谷地区・・・・・・学校統合＜北谷小・高城小・社小（社小校舎）＞
（コロナ禍で、地元での話し合いの開催が困難であった。）
※社地区が賛成されれば、小中一貫校＜北谷小・高城小・
社小・久米中＞もありうる。

- ◇社地区・・・・・・単独存続

小鴨・上小鴨

- ◇小鴨地区・・・・・・単独存続
（コロナ禍で、地元での話し合いの開催が困難であった。）
- ◇上小鴨地区・・・・・・単独存続
（コロナ禍で、地元での話し合いの開催が困難であった。）

第7回倉吉市立小学校適正配置協議会 概要

倉吉市教育委員会

- ◇日 時 令和2年12月18日（金）午後7時～午後8時10分
- ◇場 所 上灘公民館
- ◇参加者 委員30名、事務局6名

1 開 会

○教育長あいさつ

今日は、修正複数案について各地区の方向性をまず報告させていただく。その後、3つのグループに分かれて今後について意見交換をしていただくが、方針決定する会ではない。地区で話し合いが必要であれば、今後も事務局が説明に行きたいと考えている。

2 事務局より説明

資料に沿って、修正複数案について各地区の方針を報告。

3 各グループ協議の意見抜粋

成徳地区・明倫地区・灘手地区

- ◇灘手は、住民説明会を7月に開催し、8月にも検討会を開いたが、まだまだ多くの住民にきちんと内容が伝わっていないという認識をしているので、年末年始の各地域の総会時に、これまでの経過や小学校の保護者会が出された要望等を各館長から説明し、意見を集約していただくようお願いしているところだ。（灘手）
- ◇子どもの教育環境も大事だが、地域の活性化策も提案して、両輪で進めてほしい。（灘手）
- ◇灘手・明倫地区の話を見ると、いつまでも単独存続とは言い続けられないと感じた。両地区が成徳の校舎で一緒になるのが可能であるなら話を進めていってもいいかと思う。（成徳）
- ◇子どもたちのことは保護者に任せなければならないと思い、今回から協議会委員にPTA役員も入り、保護者意見を重要視しながら協議した結果、統合しようと心一つになった。（明倫）
- ◇町探検で歴史やふるさと感じるような学習をしているが、統合すれば地域も広がることで学習にも広がりが出てくるという良さもある。（明倫）
- ◇保護者の方が、子どもが交流学习をしている中で、友だちが出来て楽しかったので早く統合してほしいと言っていると聞いた。やはり、子どもを第1に考えるべきだと個人的に思った。大人のエゴを出し過ぎてはいけないと思う。（灘手）
- ◇小規模特認校のチラシは学校任せではなく、地域としてどのような教育をさせていきたいとか、どんな子どもにさせたいかをまずスタートにするべきではないかと思う。（灘手）
- ◇3地区それぞれに地域の思いはあるが、これからはその思いを出し合い、3地区を一つにして考える場を作っていけば、話が進められるのではないかと思う。（成徳）

高城地区・北谷地区

- ◇保護者会でアンケートを集約するにしても、小学校は地区の核でコミュニティになっているので、やはり地区の同意がないと動けない。地域の理解が第1だと考えている。（高城）
- ◇コロナ禍で地区での説明会が出来なかったが、この委員の中では小中一貫校が一番しっくりくるのではないかという意見もあった。3校統合にしても社小が気になる場所なので、社地区の意見を聞きたかった。それによっては、こちらの考えも変わってくる。（北谷）

- ◇この会議では、年々子どもが減少していく中で、どうやって子どもの学びの場をつくっていくのか、仲間を作る場をどうしていくか、それがどうあるべきかをまず1番に考えないといけない。小学校が、公民館の行事など地域としても必要な存在だということは二の次であって、教室に5人、6人の児童しかいない環境が、本当に子どもの学びの場としていいのか、それを念頭に考えて議論を進めないといけない。適正にするにはどうするかということ議論するために集まっているわけで、そこから広げていかないといけない。(北谷)
- ◇教育環境システムが変化している中で、きめ細かな指導も必要だが、ある程度の人数の子どもたちが教え合い、学び合うことの方が重要だと思う。やはり多くの人数の中で、揉まれる方が社会に出た時にその経験を活かすことが出来る。(高城)
- ◇国語や算数などの知識を学ぶのも大事だが、知恵を出す力を育てることも大事だ。運動会・音楽会などいろいろなことをやって成長していくもので、出来るだけ小さいうちにいろいろな経験をさせたい。何も出来ないうちに小学校を卒業しては可哀想で、学校生活において様々な機会が与えられる場であってほしい。(北谷)
- ◇いろいろな意見はあるが、100%の合意は無理なので、早く教育委員会が方向性を示して、それに従わないといけないと思う。(高城)
- ◇小中一貫校だが、鳥取市の湖南学園にも視察に行き、3段階に分かれていたスタイルがとても良かった。小学校の1年から6年生まではすごく差があるが、3つの区切りだと子どもたちの特性も活かされて、いい力が身に付いていくのではないかと感じた。(高城)
- ◇最終段階では小中一貫校がベターだと思うが、令和6年度までは複式学級が見込まれないことと、小規模特認校制度で今後も増えていくことを望んで現時点では単独でもいい。(高城)

小鴨地区・上小鴨地区

- ◇修正案の説明会も出来ていない中なので、やはり住民にしっかり修正案を説明して段取りを踏まえないと、地区としての回答にはならない。2年前から準備としてあるが、あまりにも早く、2年に限定してもらっては困る。(上小鴨)
- ◇来年度から複式学級になってしまうが、複式学級になるから統合するというについては納得いかない。(上小鴨)
- ◇湯原・北条バイパスの建設が進んでいて、インターが出来れば住宅地が出来たり子どもたちが増えたり、移住者が増えたりすること考えると、是非、単独で残してほしい。(上小鴨)
- ◇市の教育基本法の1番に「故郷に誇りと愛着をもつ子どもの育成」と掲げているが、統合してしまうと、地域の誇りを教える時間が学校で取り入れにくくなる。(上小鴨)
- ◇昨年度の島根大学の木下教授の講演で、地域づくりというのは、そこに住んでいる住民がするもので、小学校の再編と一緒に考えてはいけないと言われた。これまで地域づくりには学校も大事だから一緒に考えていたが、それは2番目であって、1番は子どもたちのことを考えることだと考え方が変わった。(小鴨)
- ◇子どもたちの人数が少なければ少ないほどよく勉強をする。地域学校委員会に入っているので学習の様子を見たが、非常に行き届いた学習をしている。(上小鴨)
- ◇イメージ的には複式は避けたいと思っている。地域の人と子どもたちの繋がりも大事にしていきたい。地区としても、ただ単独存続でというだけでなく、住宅地とか企業の誘致だとか、地域を盛り上げていかなければいけないと思う。(上小鴨)

4 その他 次回開催予定日 令和3年2月5日(金)

5 閉会